

自然エネルギーについて

田口 城聖

今、ぼくの学校では、再生可能エネルギーについて調べていたり、その施設に行つて見学をしたりしています。そこで、そのエネルギーについて興味を持つたので、未来の再生可能エネルギーについて調べてみました。

そのエネルギーには、いろいろな形に曲がりたり、物に液状のものをぬって発電する太陽光電池や、海で潮の流れを利用して発電す

る、地上だけでなく、海上や空中で風力発電する、などという発電方法があるということが分かりました。でも、今実際にある再生可能エネルギーと同じように、発電するのに天候に左右されるものが多い、発電するものをつくるのにたくさんのお金がかかる、などの問題点があるのだなと思いました。

次に、施設に見学に行つて思ったことは、発電方法を工夫して活用していることです。

その施設では、敷地がせまいので、平地では

なく斜面に太陽光パネルを設置していました。また、小型の再生可能エネルギーで実験をして仕組みが分かると、ぼくは、この発電方法を「つく」た人はすごいな、こういう地球にやさしいものが増えたらいいな」と思いました。

ぼくの家の屋根にも、太陽光パネルがあり、発電をし、自分の家で使ったり、余っている分は電力会社に売ったりしています。そこで、今までの五年間で発電した量を調べてみると、

合計約一万七千ワットアワーも発電して、いました。火力発電でやると、一キロワットアワーあたり、石油〇・二三ワットを使うので、それと同じ量を発電した場合、約四キロワットもの石油を節約したことが分かりました。さらに、火力発電で一キロワットアワー発電すると、〇・五五五キロワットの二酸化炭素を出すことになりました。それが、一万七千キロワットアワーだと、九千四百キロワットもの二酸化炭素を出します。木一本で、

十四キログラムの二酸化炭素を吸収するので、
九千四百キログラムだと、木約六百七十本分
を植えなくてはなんだということになります。
この結果を見て、ぼくは、「再生可能エネルギー
」は二酸化炭素を出す発電方法よりずっとす
ぐれているな」と改めて感じました。
自分は、自然エネルギーについて、地球に
やさしいエネルギーを増やすべきだと思いま
す。今のままだと、まだ石油や石炭などの化
石燃料を使っていたら、地球温暖化が進んで

しまうので、そうしなければならぬと思っ
ました。また、今ある課題を解決した、新し
い再生可能エネルギーを作ったり、今実現が
難しくてもできないものも取り入れれば、温暖
化ストンプに近づくのではないかと、いうぼく
の考えです。温暖化は人間が生み出してしま
いました。自分でまいた種は、自分でかりと
る。というように、自分たち人間がストンプ
させなければならぬので、節約するといふ
ことを意識して生活したいと思いました。